

2014年2月6日

**電通グループの米国 Carat（カラ）が、米国アド・エージ誌が選ぶ、
「2014年メディア・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー賞」を受賞**

米国を代表する広告業界誌である「アド・エージ誌」(Advertising Age)が、2013年の実績に基づいて選出する「2014年エージェンシー・オブ・ザ・イヤー賞」において、電通グループのメディア・コミュニケーション・エージェンシーである米国 Carat（カラ）（本社・ニューヨーク市）がメディア・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー賞を獲得しました。

受賞理由としては、高いデータ分析力に基づく優れた戦略性や、電通グループ内での新たな協業体制の確立などが挙げられています。なお、米国カラは、前年に続き2年連続でのメディア・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー賞の受賞となりました。

また、当社グループからは、総合デジタル・エージェンシーである 360i（スリー・シックスティ・アイ、本社：ニューヨーク市）が、“2013年に米国において顕著な実績を残した広告会社10社（＝エージェンシー・Aリスト）”の第3位に、デジタル・クリエイティブ・エージェンシーである Firstborn（ファーストボーン、本社：ニューヨーク市）が“2014年に最も注目される広告会社10社”の一つに選定されています。

以上